

黒潮に乗った往来

黒潮の恵み

黒潮は足摺宇和海国立公園に南方からの暖かさをもたらします。四国南岸の温暖な気候と、サンゴ、熱帯魚、ウミガメなど沖合の海洋生物の多様性のどちらももたらします。

さらう

黒潮は通常の北への流れではなく、ときに中部太平洋に向かって東に流れます。1841 年のそのような機会に、中浜万次郎という 14 歳の少年とその仲間が乗船した船が、現在の土佐清水の沖合での漁業の最中に、黒潮によって海へと押し流されてしまいました。船は広大な太平洋へと押し流され、中浜本人は冒険に満ちた人生を送りました。

歓迎されない贈り物

黒潮は多くの良いものを四国にもたらしてくれますが、運んでくるすべてのものが有益とはかぎりません。海流の水には、漁網からマイクロプラスチックと呼ばれるプラスチック小片まで、かなりの量の破片が含まれています。海洋生態系への否定的影響のために、急速に世界の関心事になっているものです。

[キャプション]

やっかいな漁網がまとわりついたウミガメ。

誤って廃棄物を口にして死亡した海鳥。